

IMJからのお知らせと祈りの課題

*「心のサプリ」を開催、参加しませんか？

- 事務局開催のオンライン(zoom)に、教会の方、未信者の方とも一緒に参加できます。
 - 教会ごとに集まって、トークはオンラインで、グループは対面(少人数)でも参加可能です。
 - 教会単独で開催の場合もスタッフがお手伝いします(オンライン&対面)。
- 開催・参加について、ぜひ一度事務局までお気軽にご相談ください。



*「万物のいやし」(ジョン&マーク・サンフォード師共著、陣内俊 訳) 好評発売中！

書籍(2,332円) 電子版(1,700円) Amazon サイトより購入できます。

事務局からも購入できます。メール・FAXでお申し込みください。

1冊 2,500円(送料込) 10冊 合計 20,000円(送料込)

* クレジットカードでも献金できるようになりました(ホームページの献金 Giving のページからできます)。

スクール・セミナー・心のサプリの予定表(2021年7~11月)

- ◇ 桐生キリスト教会 オンライン コースⅠA 群馬県 7/17(土), 31(土), 8/14(土), 28(土), 29(日)
- ◇ 桐生キリスト教会 オンライン コースⅠB 群馬県 9/29~30, 10/13~14, 27~28 <水・木>
10/9(土), 23(土), 11/13(土), 27(土), 28(日)
- ◇ 札幌スクール オンライン コースⅡA 札幌市 9/18~19, 25~26, 10/2 <土・日>
9/15~17, 29~30 <水~金>
- ◇ シティビジョン・グローリーチャーチ ⅠB 横浜市 9/20(月・祝), 25(土), 10/10(日), 23(土)
- ◇ 「心のサプリ 第3回」オンライン 7/22(木・祝) ◇ 「心のサプリ 第4回」オンライン 今秋予定

* IMJのために 特別支援金のお願いー 2つのご提案

1. 会報に事業者の広告を掲載(一件 10,000円、広告 10件募集) お問い合わせは事務局にご連絡ください。
2. 定期的なご支援(毎月定額10件のご支援を期待します) ホームページからクレジットカードでも可。

※ 特別支援金振込先 郵便振替口座: 02720-3-50871 口座名: 祈りのミニストリー・ジャパン

※ パートナースHIP教会と推進メンバー、IMJ月間献金などをお捧げ下さった方のお名前(2021年1月~6月)(敬称省略)
(教会) 大津バプテスト教会、シティビジョン・グローリーチャーチ、ニューホープ岐阜、グレースコミュニティ、桐生キリスト教会、エブリネーションチャーチ横浜、静岡サミル聖書教会、日之出キリスト教会、南紀キリスト教会、練馬グレースチャペル、本郷台キリスト教会、熊本ハーベストチャーチ、清瀬グレースチャペル、横浜ニューライフバプテスト教会、北斗チャペルキリスト教会。
(個人) 和澤清隆、岡田 久、大竹由美、ミューリン・ケント、松島美代子、瀬川久代、飯嶋りさ、伊藤博子、木田靖子、秋山和男・正子、納谷直美、北島佳代子、木村美香、山田由佳、松田由美子、新野吉男、月井 博、江口編子、菅原めぐみ、星なお子、広井真知子、吉田真由美、広野和子、中村貴美子、武田美帆、栗澤裕美、藤澤牧子、中山 務。 尊い献金を心から感謝いたします。

祈りのミニストリー・ジャパン会計報告(2021年1月~6月)

スクール受講料他・基礎講座・心のサプリ	888,320
パートナースHIP献金・IMJ月間献金・特別支援献金	2,312,163
書籍・オーディオ販売代、その他	92,990
収入合計	3,293,473
交通費・宿泊(スクール・基礎講座・アドバンス他)	0
スクール・セミナー教材作成	37,000
人件費・ミニストリー謝礼	3,032,000
会報・広告・事務・通信・管理・積立	391,216
書籍・オーディオ購入費、その他	119,316
支出合計	3,579,532

(収入-支出= -286,059)

尊い献金をお捧げ下さり、心から感謝致します。今後も祈りのミニストリー・ジャパンが日本の諸教会に仕えて行くための必要が満たされますように、お祈りください。



祈りのミニストリー・ジャパン

電話&FAX: 011-215-7258

elijahhouse@infoseek.jp

ホームページ: www.ehj.jp

〒006-0832

札幌市手稲区曙2条2丁目 4-22

-102

発行責任者: 益田良一(グレースコミュニティ)

* 口座名・番号が変わりました

郵便振替口座番号: 02720-3-50871

口座名: 祈りのミニストリー・ジャパン

会報



『見よ。わたしは、主の大きな恐るべき日に来る前に、預言者エリヤをあなたがたに遣わす。彼は、父の心を子に向けさせ、子の心をその父に向けさせる。それは、わたしが来て、この地を聖絶の物として打ち滅ぼすことのないようにするためである。』 マラキ書 4:5, 6

2021年 7月

No45



東日本大震災から10年 ~ 祈りのミニストリーが働きのための準備となった ~

オペレーション・ブレスリング・ジャパン

代表 ドナルド・トムソン



東日本大震災 — だれも想定できなかった大惨事。しかし、神様はこの日のために、またその後に展開した復興活動のために、私を含め多くの人を準備していたことを振り返って驚かされます。

神奈川県の三浦海岸で、エリヤハウスのワークショップがあり、様々な挫折と拒絶を経験し、50代を迎えていた私は、「神様は私にもう用がない」という嘘の思いを抱えていました。ワークショップのグループタイムでこの思いが取り扱われ、帰りの車の中、解放感と希望に満ちた心で運転していたことを今も覚えています。その翌日にあの、M9.0の地震が起きたのです。

当日、仕事のため車で都内に行っていた私は大渋滞で帰れなくなり、車中泊となりました。翌朝早く、埼玉の家の駐車場に到着した瞬間に、妻のキャロルが2階の窓から私を見つけ、「アメリカから電話が来ていますよ」と叫びました。急いで、電話に出ると、あの有名なキリスト教の放送団体CBNの慈善活動部門であるオペレーション・ブレスリングからの電話だったのです。

日本に来る災害支援エキスパートのための通訳など、2週間ほどの活動で終わるかと思っていましたが、想像をはるかに超えた展開が待っていて、現在に至るまで10年以上の活動が続いています。

通行止めとなった東北自動車道路を走るために必要だった緊急車両通行許可証を 奇跡的に手に入れ、

支援物資を携えて東北に飛び込みました。

そこには、悲嘆にくれる家族、不安な目でいっぱい
の被災者、また道路脇に積みあげられた瓦礫、津波で消えた街、悪臭とホコリだらけの景色はまるで世の終わりのように見え、涙を流さずにいられませんでした。日に日に、やるべきことが明確になり、私たちが取材した映像レポートが世界中に放送され、多くの支援が日本に寄せられることになり、支援活動が拡大していきました。

その後、国内代表として少人数のスタッフをリードしつつ、津波でメガネを失くした人々のための支援事業、大きな損失を被った漁業者のための支援事業などを立ち上げました。

仮設住宅ができた頃には、エリヤハウスからボランティアとアメリカから来たフェットバイトご夫妻と共に宮城県の沿岸部で、トラウマを取り扱うための「心と体を考えるお茶会」や、仙台市で支援者のための「心のケア訓練セミナー」を開くことができ、多くの成果を残しました。あるお茶会のあとのことでしたが、家などを無くした漁師の奥さんが「青空が見えるようになった」と言っていたことが、今でも忘れられません。



その後、オペレーション・ブレスリングは日本で長期的活動のために、NPO 法人を設立し、福島第一原子力発電所に近い南相馬市で、保護者と児童向けのアートセラピーや放課後児童クラブなどを行なう復興コミュニティセンターとカフェを立ち上げました。そしてまた 毎年のように起きる地震や台風の災害の現場にも入っています。

現在のスタッフは16人。「災害支援、復興コミュニティ支援、心の支援」の三つの柱で、国内外の支援者のサポートのもと、イエス様の香りを放ちながら、人々に

希望を分け与える活動を続けています。

今までの経験、つらい思いは勿論のこと、今でも直面する困難などは、神様の取り扱いによって、活かされており、続けるための勇気が与えられています。

この召命のために 祈りのミニストリーが有益となっていることを実感し、感謝しています。現代の混乱が多く希望のない世の中は、聖霊の取り扱いで整えられたクリスチャンの活躍を待っています。

皆さんも神様の取り扱いを受けて、神様からの召命に応えていきませんか。

すべてのクリスチャンへの呼びかけ「万物のいやし」

本書 P.130～
ジョン&マーク・サンフォード師共著（陣内俊訳）



「もし、わたしが天を閉ざしたため雨が降らなくなった場合、また、いなごに命じてこの地を食い尽くさせた場合、また、もし、わたしの民に対して疫病を送った場合、わたしの名を呼び求めているわたしの民がみずからへりくだり、祈りをささげ、わたしの顔を慕い求め、その悪い道から立ち返るなら、わたしが親しく天から聞いて、彼らの罪を赦し、彼らの地をいやすう。」（Ⅱ歴代誌7：13～14）

私たちがこの御言葉を祈りへの呼びかけとして引用するとき、この「地」をいやすというときの「地」は大半の場合、人々の集団、あるいは国や地域などの政治的な単位を指してきました。しかし、この御言葉の本来の意味はそうではありません。

ヘブル語の aretz は地球を表すことも、人々の集団や国を表すこともありどちらを指すのかは文脈に依存します。「いなごに命じてこの地を食い尽くさせた場合...」というこの御言葉の13節に使われている aretz は明らかに地球を意味しています（いなごが人々の集団を食い尽くすわけではないのは明白です）。

だとすると、14節で 主がいやすと約束しておられるのが人々ではなく地球であることは文脈から明らかに推察されます。もし多くのクリスチャン（主の名を呼び

求めている神の民）が ビジョンを受け取り祈るようになるならば、あらゆる分野における指導者たちの多くが要塞を打ち砕き、新しい道を探り始めることでしょう。私はナイーブではありませんから、大多数のクリスチャンがこの本やこれに類するような本を読み、魂がきよめられ、行動が変えられ、この地球全体を変革するまでになるというような 大それた考えは 持っていません。

しかし私は、神の民、中でも特にとりなしのために召された方々が ビジョンを受け取り、あらゆる社会領域において影響力のある人々のために祈り始めることを心から期待しています。また、その祈りによって指導者たちがなすべきことを知り、環境破壊や資源の枯渇が最小限になり、再臨の日に備えて出来る限りのいやしと回復が この地球にもたらされますようにと熱心に神に願い求めています。

IMJオンラインスクールを受講して

コース I Bは、私の長年の課題である『霊が眠っている状態を取り扱う』の講義がありました。

CDでも何度も聞いているので、内容は分かっているつもりでしたが、テキストに書かれていることがまさしく私のことだと 今回はっきり受け取り、グループタイムでもこの問題を取り扱ってもらいました。

私が子どもの時、私の父は仕事人間で家にいないことが多く、私と時間を過ごしてくれたことはとても少なかったと記憶しています。私は父が近くにいて守ってくれなくても、心を聞いてくれなくても、励まされなくても、慰められなくてもいいと誓って、自分の心を閉ざしました。

ミニストリーの中で、お父さんにして欲しかった自分の隠れた本当の気持ちが出てきました。内なる誓いを破棄する祈りをし、父を裁いていたことを悔い改め、父を赦す祈りをしました。

次の日の『和解』の講義で、自分を善人の椅子に座った犠牲者、父を悪人の椅子に座った加害者にしていて、私は犠牲者として、父を赦しただけだったと気がきました。

最終日でもうミニストリーはなかったので、ひとりで昼休みに祈りました。祈りの中で 私は善人の椅子から降り、父を悪人の椅子から下ろし、父も私も同じ罪人であること、そして 父も私も 本当のアイデンティティは、神の御姿に似た者として創造されたことを受け取り、その上で心から父を赦し、和解することが出来ました。

すると、私は 父に愛されていたのだと感じました。そして、自分の方から 父に気持ちを話し、遊んでということも出来たのだと気がつきました。そうしたら 父はきっと答えてくれたのではないかと思います。

また私は神様や周りの人達との関係においても同じように受け身であったことに気がつきました。神様の愛と守りをより感じられるようになり、恐れや

不安が少なくなりました。諦めずに何度も I M J に参加し続けて良かったです。

神様が 神様のタイミングでいやしてくださったことを感謝します。

札幌スクール オンライン コース I B
グレースコミュニティ 堀口 香代

初めて祈りのミニストリーに参加し、「不安な思い」からの解放を体験しました。

私は、いつも人の目を気にしてしまい、心が不安でいっぱいになることが多々ありました。それが辛く、今まで何度も祈ってきましたが、祈ったときは心が楽になっても、また不安になり、完全に解放されることはありませんでした。

人の目を気にして不安になることは、私にとっての「苦い実」で、その実を生み出している根がある限り、本当の解放はないということを学びました。

この苦い実を生み出していた根というのは、偽りの考えでした。私は幼い頃からいたずらが好きで、よく怒られました。それが嫌で嘘をつけば何でもうまくやっていける、怒られずに済む思うようになっていました。嘘を繰り返すことで、自分自身でも本当の自分を否定し、自分の本音や感情に蓋をしてしまっていました。

ミニストリーの中で「神様の前に、全部ありのままに出したらいいんですよ。」と言われ、自分の言葉で祈り始めたとき、感情の蓋が取れ、いろんな感情と涙が爆発したように溢れてきました。

このときから 実際の生活に変化が起こり始めました。自分に自信がつき、「自分は大丈夫。神様に認められている。」そう思えるようになりました。そして、人の目を気にして不安になることがすごく減り、それに悩むことがなくなりました。

私を解放してくださった神様と この祈りのミニストリーにとっても感謝しています。

シティビジョン・グローリーチャーチ コース I A
南紀キリスト教会 伝道師補 中尾 義也

AFTER

3.11

東日本大震災から10年

「祈りのミニストリーボランティアによる3.11に関わるご奉仕を心から感謝申し上げます。心の支えをまだ必要とする東北のためにお祈りください。」代表 ドナルド・トムソン

3.11を振り返る特別ニュースレター発送中。
ご希望の方に無料で送り致します。
ご請求は右記URLまたは、QRからお申し込みください。

OPERATIONBLESSING

特定非営利活動法人 オペレーション・ブレスリング・ジャパン
〒981-3133宮城県仙台市泉区泉中央1-13-4エクセルビル3F
Tel 022-779-6579 Fax 022-774-1635 Email info@objapan.org
申込はこちらから→ <https://objapan.org/newsletter311/>

宮城県気仙沼市仮設住宅にて

サラクリニック

産婦人科

院長 菊地 紫津子

〒232-0024 横浜市内南区浦舟町 4-47-2

メディカルコートマリス 302

TEL(045) 260-6620 <http://www.sarah-clinic.com>